〇調査時期 フォームからの回答受付 令和4年2月28日月~3月8日火 FAX · Goog-

ラフ2)。

売上高の現在D

·値 は、

482件 (回答率22·5%) 会員小規模事業所2145件 インデックス

ゖੑ

〇回答数 〇調査対象 〇調査方法 i o n

令和4年3月期景気見

調査レポート

~「オミクロン株」の感染急拡大、世界経済の混乱などの影響で再び大幅悪化~

「良い」「上昇 dex)の略で、

した」とする割合から

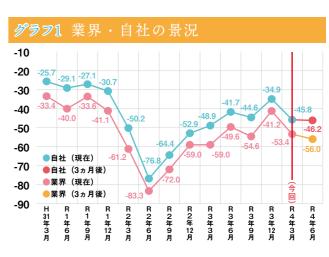
景気動向を示

の感染拡大のほか、 これらの背景には、「オミクロン株」 値も2・6ポイント下落し、 準にまで逆戻りした。また、 ら12・2ポイントの大幅悪化となり、 前回から10・9ポイントの悪化となり 化する見通しとなった(グラフ1)。 た前々回調査(令和3年9月期)の水 新型コロナの第5波の影響を強く受け 4と前回調査時 自社の景況も同様に、現在DI値は 業界の景況は、 (令和3年12月期) 現在 D ウクライナ情勢な さらに悪 先行 D I か

ど地政学リスクの高まりがあると推察 -値 が ▲ 53

と4期連続で悪化し、最低値を更新 らなる影響が懸念される する見通しとなり、 た。先行DI値も2・3ポイント悪化 仕入価格の現在D したまま出口が見えず、 仕入価格は高止ま ·値は、 (グラフ3)。 事業へのさ **6**7

グラフ2 売上高 -10 -20 -30 -40 -50 -60 -70 ●自社 (現在) -80 ●自社(3ヵ月後)

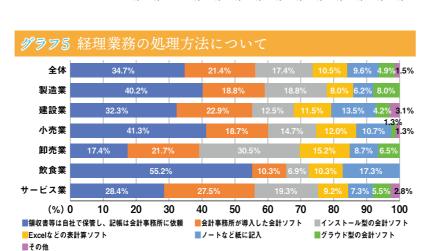


お問合せ

\$0776-33-8284

ホームページを▶ ご覧ください





R 2年3日 R 2年6日

勢による世界経済の混乱が追い打ちと 33・1%と多く、 とした。 の増加となった。また、「新型コロナウ 引き続き最も多く挙げられ、 材料の高騰」が56・5%と前回調査に イルスの影響」は45・5%と再び増加 経営上の課題(外的要因)では、「原 経営に与える影響が懸念される 一方で、 今後もウクライナ情 「燃料費の高騰」も 4期連続

経営上の課題

ことで支払情報を自動で連結できるな

R 3 年 12

「経理業務のデジタル化について」

(グラフ4)。

が迫る中、 電子帳簿保存法改正などの税制改正

事務所が導入した会計ソフト」が21 が34・7%と最も多く、 社で保管し、記帳は会計事務所に依頼」 化の状況について調査した。 経理業務の方法では、 「インスト 経理業務の現状やデジタル ル型の会計ソフト 「領収書等は自 次いで「会計

> 業種で利用が進んでいない状況がう 計ソフトの利用が効果的と見込まれる 業種の中で最も多くなった。 所に依頼している」が55・2%と、全 書等は自社で保管し、 の利用は少数にとどまって ればPOSレジと連携し、 業種別にみると、 メリットが多いものの、 飲食業では「領収 記帳は会計事務 いる。 クラウド会 現時点で 本来であ

用がかかる」が多い傾向が見られ らず多く挙げられ、 に業務を委託している事業所ほど「費 が39・8%と業種、 かかる」が47・9%、「費用がかかる」 がえる (グラフ5)。 経理業務における課題では、 従業員規模に関わ 中でも会計事務所 「時間が た。

0

-10 -20

-30 -40

-50

-60

-70

-80

■R4.3月

R3.12月

50

グラフ3 仕入価格

●自社(3ヵ月後)

る事業所も少なくないことが分かっ み方がわからず着手できていない事業 たに取り組みを検討している」が13 にデジタル化を進めたい」が21・3%「新 に「既に取り組んでいるが、今後さら からない」が35・3%と最も多く、 への取り組みや新たに取り組もうとす いては、「関心(興味)があるがよくわ ・%となった。この結果から、 化に関心はあるものの、 経理業務のデジタル化への関心につ さらなるデジタル化 その取り組 デジタ 次

グラフ4 経営上の課題(外的要因)上位5位

10

20

30

40

ド型の会計ソフト」の利用は4・9%に

が17・4%と続いた。

一方で、

「クラウ

ル

ジやクレジットカ

ードなどと連携する

は常にシステムが更新され、POSレ とどまった。クラウド型の会計ソフト

原材料の高騰

燃料費の高騰

価格競争激化

新型コロナウイルスの影響

同業他社との競合激化

福井商工会議所 金融 会計相談課

(%) 0